

7月の安心かわら版

7月の主な行事



7日：七夕
13日：盆の迎え火

21日：海の日
22日：大暑



七夕の三つの由来

七夕の由来は3つあるとされています。それは、「中国から伝わった説」と「日本古来の行事という説」、そして「日本と中国の文化が融合したという説」の3つです。それぞれ、どのような説なのか確認をしてみましょう。

七夕は中国から伝わったという説

こちらは中国の「乞巧奠(きこうでん)」が由来になったという説。「乞巧奠」は、織姫と彦星の物語である「七夕伝説」から発展してできたお祭りのことです。「乞巧奠」では、女性の仕事である機織りや裁縫が上達するようお祈りをします。その方法は、庭先の祭壇に針や五色の糸を供えて、星に祈りを捧げることでした。やがて機織りや裁縫だけでなく、書道などの芸事の上達を願うようになります。これが奈良時代の日本に伝わり、宮中行事として行われるようになったのが始まりだとするのが、この説です。

七夕は日本古来からの行事という説

続けて、日本古来からあった行事だという説。これは「棚機(たなばた)」という禊ぎ行事が元になっているという説になります。この行事は、選ばれた乙女が川などの清らかな水辺に用意した機織り機で着物を織り、それを天から降りてくる水神様に捧げて秋の豊作を祈り人々の穢れを払うというものです。この選ばれた乙女のことを「棚機津女(たなばたのつめ)」、そして「棚機津女」が機織りに使っていた織り機のことを「棚機」と呼んでいました。やがて仏教が伝わると、この行事は7月7日の夜に行われるようになり、「七夕」と呼ばれるようになったとされています。

日本と中国の文化が融合したという説

こちらは先述の「乞巧奠」と「棚機」が融合してできたという説です。この説は「乞巧奠」が日本に伝わり、「七夕(しちせき)」と呼ばれる宮中行事になったことから始まります。この「七夕(しちせき)」が室町時代に民間に伝わり、広い地域で行われていた「棚機」にちなんで、「七夕」を「たなばた」と呼ぶようになりました。

暑い日が続いています☀

夏バテ・熱中症予防が大事!
直射日光を避け、こまめな水分補給を心掛けましょう



保険のレジアス

レジアスインパクト(株)本 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-5-17 3階
TEL 049-256-5885 FAX 049-256-8558

レジアスインパクト(株)関西本部
kansai@rezeous.co.jp

〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町11-9 9階
TEL 06-4303-4193 FAX 06-4303-4194

レジアスインパクト(株)秩父支店
chichibu@rezeous.co.jp

〒368-0024
埼玉県秩父市上宮地町26-21
TEL 0494-27-3210 FAX 494-26-6555

レジアスインパクト(株)本庄支店

〒367-0041
埼玉県本庄市駅南2-28-12
South450 401号
TEL 0495-71-5831 FAX 0495-71-5832

レジアスインパクトでは、保険のことはもちろん!
将来の不安や身近なお困りごとまでいつでも相談受付中です